

相模中学校だより

令和8年7月7日

発行：校長 大西さくら



1学期も残すところあとわずかとなりました。夏休みを有意義なものにするよう、今、学校では1学期のふり返りをしっかりと行っています。

今回の通信では、各学年行事を終えての作文や事後学習の様子中心にお伝えいたします。

1 学年さがみ湖遠足作文より

中学生になって初めてのさがみ湖への遠足では、私は班の班長を任されました。最初にこの役割を聞いた時には、自分でちゃんとできるのか不安な気持ちがありました。でも同時にしっかりがんばろうという気持ちも強くなりました。当日はスタンプラリーでの移動の時に迷わないように声をかけたり、はんのみんながはぐれないように気を配りました。カレー作りでは、それぞれが役割をもって協力しながら作業をすすめて、みんなで作ったカレーを食べたときには達成感を感じました。一人ではできないことも、協力すればうまくいくことを実感しました。特に、みんなで分担して動くことで、思ったよりも早く作業が進んだり、困ってる人がいたときに声をかけることでスムーズに勧められたりして、協力することの大切さが強く感じました。また、自分が指示を出すだけでなく、周りの様子を見て、自然に助け合える雰囲気を作ることも大切など気づきました。今回の経験を通して、ただまとめるだけではなく、全員が気持ちよく行動できるように考えることが分かりました。次の行事では、今回の経験を生かして、もっと早く全体を見て動いたり、困っている人に気づいて声をかけられるようになりたいです。今回の経験を忘れずにこれからも協力することを大切にしていきたいと思いました。

準備の時は上手に作れるかな、バスレクの司会進行できるかなと不安でいっぱい、前日は乗り物酔いを心配したり、自分の仕事の当日の動きを確認していました。

当日になるとさっそくバス酔いし、気持ち悪かったのですが、空気が美味しくてすぐ元気になってしまいました。緑が多いところでもなかなか聞けない虫の声が聞こえたり、あまり使わないカマドを使うなど楽しいことが沢山ありました。そして私はこの遠足を通して学んだことが三つあります。一つ目は「時間を守る」です。時間を守らないと周りの人を困らせたり、美味しいご飯が食べられなくなってしまいます。二つ目は「人の物はきれいに」です。きれいだと貸した側も借りた側もいい気持ちになれます。三つ目は「当たり前を守る」です。「時間を守る」も「人の物はきれいに」も当たり前のことですが、守ることは難しいです。だからこそ、大事だと私は思います。私はこれらの三つのことを守って楽しくいい気持ちで中学校生活を、人生を送っていければいいなと思います。

壁新聞

2 学年校外学習壁新聞



3 学年修学旅行壁新聞



各班で作成した壁新聞です。それぞれの見学地についての紹介やその場所で学んだことや感想などが書かれています。パンフレットや写真なども工夫して利用しています。また、タイトルもそれぞれ個性あふれるものになっていて、楽しいです。ちなみに、1年生も壁新聞を作成して廊下に掲示してありますので、ぜひ来校された時にはゆっくりとご覧ください。

交通安全指導



期末試験の日の下校時、交通安全指導を行いました。多くの生徒は、信号や横断歩道など、ルールを守って歩いていましたが、友だちと話すのに夢中になって、信号や車に気がつかなかったり、横に広がって歩いていたという場面もありました。

また、中学生は自転車を利用することが多くあります。自転車に乗る際はヘルメットの着用が努力義務となっています。市内でも中学生の自転車に乗っている際の事故について耳にすることがありますので、できるだけヘルメットを着用していただきますようご協力をお願いいたします。

三者面談

6日（月）から、三者面談が行われています。生徒たちにとっては、進路や学校生活について自分自身と向き合い、その思いを自分の言葉で伝える機会となります。また、保護者の皆さまには学校での様子をよく知っていただき、またご家庭での様子を伝えていただくことで、お子様の成長と一緒に見守っていけると考えております。どうぞよろしくお願いいたします。